



保育×DX

子どもと向き合う 時間ができる。

4月から公立保育所で順次導入予定の「CoDMON(コドモン)」。
これまでアナログで行ってきた書類作成など事務作業がデジタル化することによって、
保育士が子どもに向き合う時間的・精神的ゆとりが生まれやすくなることを狙っています。
今月は、先行導入している長島中部保育所で、現場の声を伺いました。

問 この記事については秘書広報課(☎24-1492 FAX 24-1119)

DXで叶うこと

- 保育士にとっては、書類入力がデジタル化することで事務作業の時間削減
- 出欠連絡のために行っていた毎日の作業が簡略化
- 指導案がデジタルにより共有しやすくなり、後輩への指導がやりやすくなる
- 保護者にとっては、欠席連絡などがスマホから可能に

2024年度から、 シリーズ「○○×DX」が スタートします！

人口減少が進む中、「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりを進めるためには、デジタル技術を活用し、市民の皆さんの利便性を向上させ、人的資源を適切に活用してより良い行政サービスへとつなげていく必要があります。今年度は、市内で進むDX化の事例を取り上げていきます。
※DX(デジタルトランスフォーメーション)…デジタル技術を活用し、社会や生活の形が変わること

- 02 伸びゆくまち・桑名
第27弾 新しい福祉のかたちを実現
地域と共に支えあう「桑名福祉ヴィレッジ」
- 04 キラリ★くわな人
- 05 特集 保育×DX
子どもと向き合う時間ができる。
- 08 令和7年度 桑名市職員採用試験
令和6年度 バス検診申込
- 10 より良い投票環境へ！
桑名市議会からのお知らせ
- 12 子育て広場
図書館・六華苑・博物館
- 14 メディカルニュース
くわな防災教室

- 15 人気の給食レシピ
みんなの掲示板
- 16 EVENT ALBUM(イベントアルバム)
- 18 くわなINFO
- 26 無料相談
- 27 ゼロカーボンシティ 取りくみレポート
市長まちなか探索
- 28 HAPPY BIRTHDAY
桑名のイトコ教えてください。

今月の表紙

子ども、高齢者、障害者などさまざまな人が共に過ごす桑名福祉ヴィレッジ。地域の人が気軽に立ち寄れる交流の場にもなっています。



2月18日(日)に開催された「第17回美し国三重市町対抗駅伝」で、桑名市チームが見事、準優勝。3年ぶりの開催となったため、選手たちは今年は一層強い思いで練習を重ねてきたそうです。小雨が降る中、県庁前からスタートし、ゴールの三重交通Gスポーツの杜伊勢をめざし、10人でタスキをつなぎました。桑名市チームは終盤に猛追し、逆転優勝に迫る渾身の走りを感じを与えてくれました。



第17回美し国三重市町対抗駅伝
準優勝 桑名市チーム

キラリ★くわな人

10区を走った山口選手は「まさか前の選手が2位で来るとは思わなかったので、絶対優勝したいという思いで走りました」と話してくれました。

山下監督は「わくわくする走りを見ることができました。選手たちは力を十分に発揮してくれました」と笑顔を見せてくれました。また、来年の目標として、「優勝は高いハードルではあるが、チーム一丸となってめざしたい」と意気込みを語ってくれました。来年もみんなで桑名市チームを応援しましょう。



スタートとゴールの瞬間

長島中部保育所、桑陽保育所での 試験運用を経て 公立保育所での導入へ



試験運用されている長島中部保育所

コドモン(CoDMON)とは?



保育施設向けのICTサービスのことで、全国各地の地方自治体で導入されています。桑名市では、3年前から試験運用が始まり、今年4月からほぼ全ての公立保育所で順次運用がスタートする予定です。登所・降所の管理や保護者からの欠席連絡受付、指導案や日誌の作成など、保育所で行われるさまざまな業務が一つのアプリに集約され、保育士の業務負担を軽減して子どもに向き合う時間を増やすことを目的としています。

長島中部保育所で試験運用している機能

- 登降所管理
- 保護者連絡
- 指導案・日誌作成
- お知らせ配信
- おたより配信
- 発育・健康記録
- アンケート
- など



長島中部保育所 保育士
山本 綾さん



指導案作成は先輩保育士が指導することも、進捗状況がデータ上ですぐわかるので、後輩へ声をかけやすくなったそうです。



共通項目などはコピーして作成できるのがデジタルのメリット。毎月のおたよりは写真を簡単に挿入できるので、保護者から「子どもの様子がわかりやすい」と好評です。

「事務作業にかかる時間は半分くらいに短縮。 その分、保育準備などに時間をとれます。」

山本さんは、育児休暇を取得し復帰した「コドモン」が導入されていたという経験から「最初はコドモンの操作に戸惑った」と話します。しかし、それもすぐに慣れ、さまざまな業務が効率化されたことにメリットを感じているそうです。

「朝、子どもたちが登所すると保育士たちはそれぞれ出欠をとります。一方で、保護者からの欠席連絡は電話だったので、電話番号が必要でした。今は、コドモンで欠席の通知があるので、パソコン上でまとめて把握でき、確実に保育士に伝えられます」。

書類作成の時間が大幅に短縮できたこともメリットの一つ。「月案や週案などの指導案、日誌、月1回のおたより配布など、保育士の業務には、書類仕事が意外と多く、今までは手書きで行って

きた。これがパソコン上でできることで、かなり時間短縮になります。すっかり測ったことはありませんが、コドモンでの作成に移行した書類に関しては、かかる時間は感覚的に半分くらい。他にも、プリントして手渡ししていた保護者へのおたよりやアンケートもアプリ上で配信できるようになりました。

多忙な保育士は、「日々、子どもと向き合っているため、他の業務の時間を確保するのが難しい」という課題を抱えがちですが、DXをうまく活用できれば、労働環境が改善され、保育士人材の確保にもつながります。また、保育士が子どもと向き合う時間が増えることにより、より質の高い保育を提供できるようになります。

「欠席連絡が楽になり、おたよりが いつでもどこでも見られるのが便利です」



保護者
はるか
福島 晴香さん



朝、登所したら専用リーダーにスマホのQRコードを読み込ませれば登所登録完了です。



子どもの情報をアプリに入力すれば、複数台で共有することもできるので、例えば朝はお父さんが送り、帰りはお母さんが迎えに行くという時にも便利だそう。

5歳の次女と、小学校1年生の長女を育てる福島さん。コドモンは次女の入所と同時に知ったそうで、「保育所もデジタル化が進んでいるんだなあ」という感想だったそうです。コドモンのアプリを触ってみると、直感的に操作できるため、特に違和感を覚えることもなく慣れたと話します。

利便性の面を聞くと「朝、欠席の連絡は8時30分ごろにと決まっていたのですが、スマホアプリなら『登所できない』と分かった時点で連絡を入れることができるので、かなり便利です。さらに、例えば帰りの迎えを誰かに頼んだ時に、アプリから降所の確認ができるので、『ちゃんとお迎えに行ってもらえたんだな』という話が分かり、安心感があります」と話してくれました。

書類作成のデジタル化のメリットは、

保護者も感じているようです。「毎月のおたよりはアプリで見ることができるようで、ふと『明日の持ち物は?』など気になった時に、出先でもすぐに確認できます。紙の場合は手元ないと確認できません。アンケートの配信も、出先などのちょっとしたスキーム時間で回答することもできるので、便利です」と、どこでも手軽に確認できるデジタル配信も高評価のようです。

今後、積極的に使ってみたい機能を聞くと「身長・体重などの記録が保存されていることに、この前気づきました(笑)。自動的にグラフになっているので、子どもの成長がわかりやすくていいなと思いました」と福島さん。作業コストをかけることなく、サービスの質の向上を図ることができた、DXの良い事例となりました。

他にもいろいろ! 子育て×DXの取り組み



子育てアプリ
「くわな
ハッピーナビ」
(母子モ)



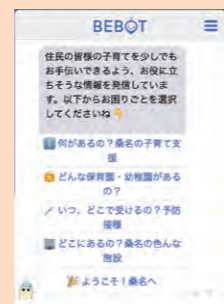
予防接種や健診の予定確認・記録が簡単にでき、時期が近づくと自動でお知らせしてくれる機能があり、子育て情報や病院、子育て施設などを確認することができます。利用は無料で、スマホ、タブレット、パソコンに対応しています。



LINEで
入所(園)の
手続き



市のLINE公式アカウントから、保育所への入所手続きがオンラインで申請することができます。トーク画面から「入所申請」などと打ち込むとメニューが表示され、スムーズに手続きを行えます。



子育て
AIチャット
ボット



24時間365日、いつでも子育てに関する知りたいことや疑問を解決できる初めての子育てをする人や、外国の人が日本で子育てする場合など、さまざまな悩みに対応。市のLINE公式アカウントからもアクセス可能です。